

『Mind Charging』

第 165 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 11 月 30 日

アガサ・クリスティの名言



If one sticks too rigidly to one's principles, one would hardly see anybody.

自分の主義にあまりにも強く固執するならば、誰かを理解するのは難しいでしょう。

私はこの言葉を『自分の主義＝自分の物差し』と解釈しました。『十年一昔』という四字熟語があり、意味としては『時の経つのが早く、世の移り変わりが著しいということ。わずか十年という期間でも、振り返れば、遠い昔のように思われる』ということで、特に昨今の時代の変化のスピードを考えると、10年よりも早く様々な“常識”が変わっていくのだろうと考えます。例えば、みなさんの中でもほとんどの人が持っているスマホも、その中でも代表的な『iPhone』が誕生したのが2007年です。最近では5Gの普及が徐々に始まっていますが、当時はまだ1Gでした。4Gの現在は動画などの視聴もできますし、高速通信が可能です。当時はインターネットの利用はできる者の、通信速度は現在の速度を知ってしまった以上、再度経験すると大きなストレスを感じるような速度でした。通信機器だけでも、たった13年でここまで変化しています。また、そういった高速通信や、進化した機器を使って今や映像コンテンツはテレビで“誰かが作ったものを見る”という時代から、スマホで“自分で作ったものを見る”時代に突入しています。これは10年前にほとんどの人が予想できなかった変化ではないでしょうか。

自分の“信念”を持つことは素晴らしいことです。しかし、それが時代の流れによって変わっていく考え方とあまりにも逆行してしまうとこの言葉のようになってしまうと思います。私たちは一人では生きていけません。自分のために世界があるのではなく世界の中に自分がいるのです。激動の時代を力強く生き抜いていくためにはアンテナの高さと順応性の高さが求められます。みなさんが持っている物差しはどのタイプですか？（編集委員：入試広報室 鈴木）

アガサ・メアリ・クラリッサ・クリスティ(Dame Agatha Mary Clarissa Christie, DBE、旧姓：ミラー、1890年9月15日 - 1976年1月12日)は、イギリス生まれの推理作家である。発表された推理小説の多くは世界的なベストセラーとなり「ミステリーの女王」と呼ばれた。英国推理作家のクラブであるディテクションクラブの第4代会長。メアリ・ウェストマコット 名義の小説が6作品ある。日本語表記は「クリスティ」「クリスティー」がある。(Wikipedia 参照)